

天野秀雄 病歴、医療費

		病歴	医療費(円/年)
1988	40歳 (S63)	区の節目健診で肝機能異常を指摘される 非A非B型ウイルス性肝機能障害と診断	
1989	41歳 (H元)	HCV抗体検査によりC型ウイルス性肝硬変と診断	
1992	43歳 (H4)	<b>食道静脈瘤破裂のため緊急入院(63日間)</b> 食道離断術・脾臓摘出手術 手術後、腹水貯留・肝機能低下・腎不全  自宅で肝性脳症発症 <b>肝性脳症・肝機能低下の治療のため入院(71日間)</b> <b>血中アンモニア値異常の治療のため入院(24日間)</b> 退院後 1ヶ月に1回外来受診	1,800,584
1993	44歳 (H5)	<b>血糖値異常治療のため入院(53日間)</b> 退院後 2ヶ月に1回外来受診	
1994	45歳 (H6)	<b>第1回インターフェロン(IFN)治療(肝硬変患者に対する治験)入院(60日間)</b> IFN-α 2a、900万単位、週3回投与開始 退院後週3回IFN投与(平野医院)	1,144,643
1995	46歳 (H7)	IFN治験終了(投与期間9ヶ月)一過性著効 1ヶ月に1回外来受診	
1996	47歳 (H8)	<b>第1回肝がん治療(2cm、1個)入院(52日間)</b> エタノール注入療法(PEIT)4回実施  <b>第2回IFN治療(肝がん再発抑制効果判定の治験)入院(32日間)</b> IFN-α 2a、600万単位、28日連投開始 退院後、通院で週3回IFN投与	1,018,864
1997	48歳 (H9)	IFN治験終了(投与期間約6ヶ月)一過性著効 退院後 1ヶ月に1回外来受診	
1998	49歳 (H10)	<b>第3回IFN治療(自費治療)入院(20日間)</b> IFN-α 2a、600万単位、週3回投与開始 退院後、自己注射	IFN 自費
1999	50歳 (H11)	IFN-α 2a、900万単位、週3回に増量 副作用のため投与終了(投与期間14ヶ月)完全著効	約 2,000,000
2000	51歳 (H12)	1ヶ月に1回外来受診 交互にCTとエコー検査	
2001	52歳 (H13)	<b>第2回肝がん治療(1~2cm、3個)入院(20日間)</b> ラジオ波焼灼療法(RFA)3ヵ所実施 退院後、定期的にエコーとCT検査	
2002	53歳 (H14)	<b>第3回肝がん治療(2cm、1個)入院(8日間)</b> ラジオ波焼灼療法(RFA)1ヵ所実施 1ヶ月に1回外来受診 交互にCTとエコー検査	
2004	55歳 (H16)	<b>第4回肝がん治療(2.5cm、1個)</b> 肝動脈塞栓療法(TAE)実施 入院(12日間) エタノール注入療法(PEIT)実施 入院(11日間) 胸腔鏡・エコー下凍結融解壊死療法実施 入院(9日間)	645,237
2005	(H17)	定期的に内科と外科 外来受診 交互にCT、エコー、MRI検査	224,060
2006	(H18)	定期的に内科と外科 外来受診 交互にCT、エコー、MRI検査	255,850
2007	58歳 (H19)	エコーとCT検査で肝がんの疑い	
	59歳	<b>血管造影検査入院(5日間)</b> <b>第5回肝がん治療(肝後区域下部に大きく拡がった肝がん)入院(29日間)</b> 肝切除手術実施	(高額医療給付) 382,920
2008	59歳 (H20)	肝細胞がん切除術後 肝不全~多臓器不全 1月22日0時58分 永眠	(高額医療給付) 217,303

注: 医療費欄は、領収書・所得税申告書・申告時計算書等、資料のあるもののみ記載。資料がないものは空欄。